



令和6年10月18日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

特別展「鳥 ～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」

報道内覧会のご案内

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）では、2024年11月2日（土）～2025年2月24日（月・祝）まで、特別展「鳥 ～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」を開催いたします。

ついては、開幕に先立ちまして11月1日（金）に特別展「鳥 ～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」報道内覧会を開催いたします。ぜひこの機会にご臨席いただき、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。詳しくは、別添資料をご覧ください。

特別展「鳥 ～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」報道内覧会

【日時】2024年11月1日（金）（受付開始 12:30／受付終了 14:30）

13:00～ 監修者紹介／スペシャルゲスト紹介／フォトセッション
終了後、監修者による展示解説を実施。

15:00 報道内覧会終了

【会場】国立科学博物館 地球館地下1階 特別展示室（東京・上野公園）

特別展「鳥 ～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」

【会期】2024年11月2日（土）から2025年2月24日（月・祝）

【会場】国立科学博物館 地球館地下1階 特別展示室（東京・上野公園）

【主催】国立科学博物館、日本経済新聞社、BS テレビ東京

<本件担当者>

独立行政法人 国立科学博物館

事業推進部 企画展示課（特別展担当）

松井、大橋、高山、佐藤

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-3822-0111 FAX：03-5814-9898

<取材に関するお問い合わせ先>

特別展「鳥」広報事務局（共同ピーアール内）

担当：西田、安田

TEL：070-4603-7271（西田）

090-7909-5164（安田）

E-mail：tori-ten-pr@kyodo-pr.co.jp



**レイザーラモンRGさん（芸人）高柳明音さん（女優・タレント）が
スペシャルゲストとして登場！**

＜報道内覧会のご案内＞

特別展「鳥 ～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」

日時：2024年11月1日（金）13:00～15:00

（報道受付開始 12:30、事前申込制・先着順）

会場：国立科学博物館 地球館地下1階 特別展示室（東京・上野公園）

国立科学博物館（東京・上野公園）では、2024年11月2日（土）から2025年2月24日（月・休）まで、**国立科学博物館初の鳥類をテーマとした特別展「鳥 ～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」**（主催：国立科学博物館、日本経済新聞社、BSテレビ東京）を開催します。

本展は、急速に発展するゲノム解析による研究で明らかになった最新の系統分類をもとに、鳥類に特有な体の構造や生態を紹介しながら、鳥たちの多種多様な進化を解説します。

国立科学博物館初の鳥類をテーマとした本展では、貴重な**600点以上の剥製・骨格標本を最新の系統分類に従って展示する**とともに、鳥類の起源である恐竜から多様に進化した鳥類の魅力に迫ります。さらに、鳥が使う言葉や雌雄の関係など、23のテーマで「鳥のひみつ」も詳しく解説します。一生分の鳥が見られる!?本展は、身近に存在する鳥への理解を深め、鳥とともに歩んでいく未来について考えていく、この秋必見の展覧会です。

本展の開催に先立ちまして、**11月1日（金）に報道内覧会を開催致します**。下記概要にて開催致しますので、ご多忙かとは存じますが是非ともご参加賜りますようお願い致します。



＜特別展「鳥」報道内覧会 概要＞

- 日時 2024年11月1日（金）13:00～15:00（報道受付時間 12:30～14:30）
- 会場 国立科学博物館 地球館地下1階 特別展示室（東京都台東区上野公園 7-20）
- 内容 自由内覧・監修者による展示解説および質疑応答 ※音声ガイドの無料貸し出しを行います。

13時から監修者による展示解説とスペシャルゲスト紹介を行います。

13:00～

監修者紹介

本展の全体概要・コンセプト説明

－西海 功（国立科学博物館 動物研究部 研究主幹）

13:15～

スペシャルゲスト紹介

**本展の音声ガイドナビゲーターを務めるお二人から、
ひと言ずつのご挨拶とフォトセッションを行います**

－レイザーラモンRGさん（芸人）

－高柳明音さん（女優・タレント）

展示解説 【序章】絶滅～【第1章】鳥類の起源からペラゴルニス・サンデルシについて

－西海 功（国立科学博物館 動物研究部 研究主幹）

－對比地 孝亘（国立科学博物館 地学研究部 研究主幹）

展示解説 鳥のひみつ：『子はかすがい』にならない「ハトが教えてくれる鳥の“心”」

－濱尾 章二（国立科学博物館 動物研究部 グループ長）

※展示解説終了後、自由内覧終了時間まで、監修者は個別の質問にお答えいたします。



特別展「鳥」の見どころ

【特別展「鳥」みどころ①】

600 点以上の標本が集結する、圧巻の特別展！

国立科学博物館の「現生鳥類研究者」と「古生物研究者」が連携し、鳥類について解説します。

古今東西の身近な鳥から、珍しい鳥、絶滅してしまった鳥、可愛すぎる鳥、個性的な鳥…、多種多様な世界中の鳥たち 600 点以上の標本を集めた圧倒的なボリュームで、鳥マニアはもちろんのこと、鳥に詳しくない方たちにも、鳥の魅力が伝わること間違いなしの展覧会です。

400 種以上の鳥を観察したことがあれば、バードウォッチャーのなかでもかなりの経験者といわれる中、一生分!?を超える標本点数が集結します。



シマエナガノスズメ目

【特別展「鳥」みどころ②】

最新の研究成果にもとづき新たな視点で鳥類へアプローチ！

「ハヤブサはタカよりもインコに近い仲間？」「白亜紀末の恐竜絶滅期に現生鳥類に続く系統が少なくとも三つあった」など、鳥類の進化と多様化に対して、ゲノム解析の視点からアプローチ。系統を基にした分類の「目」ごとに会場全体をレイアウトし、系統や生態に関する最新の研究成果を通して、鳥類を紹介します。



ハヤブサノハヤブサ目



オオハナインコノインコ目

【特別展「鳥」みどころ③】

見応えある企画が満載！ 5つの「特集」と、23の「鳥のひみつ」、初公開の「生体復元モデル」で鳥類を深掘り！

本展では、「絶滅」「翼」「猛禽」「ペンギン」「フウチョウ」の5テーマに集中して展示をおこなう「特集」コーナーや、「“方言”と“言葉”」「つがい外の性関係」「雌雄産み分け」など鳥の驚きの生態に関するトピックを、23の「鳥のひみつ」コーナーで解説。興味深い鳥の世界をより深く解き明かしていきます。美しい羽根をもつ「フウチョウ」は、12 種もの標本が集まる貴重な機会となります。

また、史上最大級の飛ぶ鳥「ペラゴルニス・サンデルシ」の生体復元モデルを日本初公開で展示します。現生の飛ぶ鳥で最も大きな「ワタリアホウドリ」の2倍以上で、翼開長が7 mに達したペラゴルニスの生体復元モデルは見応え抜群です。

【特別展「鳥」みどころ④】

国立科学博物館や各博物館所蔵のコレクションから、すでに絶滅してしまった種や絶滅危惧種の剥製、普段は公開していない貴重な標本を展示

すでに日本では絶滅してしまった「キタタキ」や野生復帰プロジェクト中の「トキ」、絶滅危惧種の「フィリピンワシ」「ヤンバルクイナ」などの標本を展示し環境保全の重要性を考えます。また、ゲノム解析による研究の結果、新しく日本固有種と認められた「キジ」「ホントウアカヒゲ」「オリヤマガラ」「オガサワラカワラヒワ」「リュウキュウキビタキ」を揃って展示。まとめて観察できる貴重な機会をお見逃しなく。



フキナガシフウチョウノスズメ目



ペラゴルニス・サンデルシ生体復元モデル

【特別展「鳥」報道内覧会 参加申込書】

ご多用の折、誠にお手数ですが、ご参加いただける場合には **別紙①** のご参加に関しての注意をご一読の上、**10月31日（木）17:00まで**に必要事項をご記入の上、申込フォーム、E-mail または FAX にてお申し込みいただきますようお願い致します。

申込フォーム：<https://tayori.com/f/tori-ten-nairankai/>

E-mail: tori-ten-pr@kyodo-pr.co.jp または FAX 送信先: 03-6700-5620

■日時 / 2024年11月1日（金）13:00～15:00

■会場 / 国立科学博物館（東京・上野公園）

※特別展入口（SL横）よりご入場ください。

■アクセス / JR「上野駅」（公園口）から徒歩5分

東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」（7番出口）から徒歩10分、京成線「京成上野駅」（正面口）から徒歩10分
※車でのご来場はご遠慮ください。

※敷地内に駐車場および駐輪場はありません。



撮影形態	<input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> ムービー（ENG） <input type="checkbox"/> ハンディ/スマートフォン動画 <input type="checkbox"/> 撮影無し
展示解説へのご出欠	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない
スペシャルゲスト紹介へのご出欠	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない
貴社名	
部署・所属名	
貴媒体名／貴番組名	※ご掲載媒体が未定の場合は「未定」とご記載ください。
ご掲載／放映予定日	月 日 （ 号）掲載／放送予定
お名前	（合計 名）
ご同行者様お名前	
ご連絡先	TEL :
	E-mail :
	〒
備考	

※ご返信いただいた個人情報は、本展の広報活動以外の目的で使用することはありません。

【報道に関するお問い合わせ】

特別展「鳥」 広報事務局（共同ピーアール内） 担当：西田、安田
TEL. 070-4303-7271（西田）、090-7909-5164（安田） / FAX. 03-6700-5620
E-mail. tori-ten-pr@kyodo-pr.co.jp

別紙①

<会場取材時のルール>

- 報道内覧会で撮影した画像・動画は、会期後および展覧会紹介の目的以外での転用・二次使用はできません。また、無断使用は固くお断り致します。
- 報道内覧会での撮影写真を掲載・放送していただく際は、展覧会名、会期、会場名、標本名、所蔵先・クレジット表記をご記載いただくようお願い申し上げます。
- 開会式は実施いたしません。
- 当日、展覧会特設ショップ、音声ガイドをご利用いただけます。

<撮影上の注意>

- 三脚の使用が必要な場合は、作品および展示等に十分ご注意ください。
- ストロボ・照明での撮影はご遠慮ください。
- 展示物のトリミングおよび展示作品の上に文字を載せることはできません。
- 展示物にはお手を触れないようお願い致します。
- 当日配布します「撮影注意事項」をお守りいただきますようお願い申し上げます。詳細が事前に必要な場合は、広報事務局までご連絡ください。

<その他>

- 展覧会場では、電源を供給することはできません。
- その他の施設の撮影、取材をご希望される場合は、別途事前にご相談ください。

SPECIAL COLLABORATION

動物の生態イラストで人気のぬまがさわたりさん(イラストレーター/作家)とコラボ。
「鳥のひみつ」コーナーで、鳥の驚きの生態を魅力的なイラストで解説します。



ぬまがささんメッセージ

このたびは「科博」史上初となる大規模な「鳥」展で、地球で最もすばらしい動物である鳥の生き様を紹介させてもらうという、たいへん光栄な機会に感謝します。カワセミさま(敬称)のイラストから出発したクリエイターとして、「鶴の恩返し」ならぬ鳥への恩返しができるよう、想像の翼を全力でためかせました。展示の隅々まで「鶴の目鷹の目」で堪能してください!

イワトビペンギン

チャミミチュウハン

GOODS

特別展「鳥」特設ショップ

鳥展公式図録やオリジナルグッズもたくさん取り揃えています!
スヌーピーで有名なPEANUTS™とのコラボが決定! 本展覧会でしか購入することのできないオリジナル商品を販売予定です。



○オリジナルキーホルダー



○もちもちやわらかスクイーズボール



○マグカップ

*画像はイメージです。変更となる場合があります。

VOICE GUIDE

音声ガイドナビゲーターは、芸能界きっての鳥好きのこのお二人!
展覧会の見どころと鳥の魅力をわかりやすく紹介します。

レイザーラモンRGさん(芸人)



1997年よりレイザーラモンHGとお笑いコンビ「レイザーラモン」として活動。いち早く世間を切り取ったモノマネと、どの分野でも「あるある」という共有項を見つけるネタが話題。プロレス、スニーカー、バイク、パードウォッチングと幅広い趣味に精通している。

高柳明音さん(女優・タレント)



2009年SKE48のメンバーとしてデビューをし、2021年4月にグループを卒業。現在は女優業を中心に、バラエティやラジオパーソナリティなどマルチに活躍中。野鳥はまだまだ勉強中ではあるものの大の鳥好きで、趣味のカメラで自ら鳥の撮影もできるのが強み。現在は野鳥専門誌「BIRDER」にて連載を持つほか、NHKBS「イロトリドリ! 探鳥絶景旅」への出演や、柳生博さんとの共著「八ヶ岳の野鳥に迷いました。」も話題に。

音声ガイド料金(税込)

【会場レンタル版】貸出料金600円 【アプリ配信版「iMuT」】配信料金650円

(iOS/Android)

チケット ticket

【入場料】 一般・大学生: [当日券] 2,100円
*税込 [前売券] 1,900円
小・中・高校生: [当日券] 600円
[前売券] 500円

*前売券は、2024年9月6日(金)から11月1日(金)までの販売。*未就学児は無料。
*障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料。*学生証、各種証明書をお持ちの方は、入場の際にご提示ください。*本展覧会を観覧された方は、同日に限り常設展示(地球館・日本館)もご覧いただけますが、常設展示の開館時間内に限ります。*会場内の混雑等により、ご入場を制限させていただく場合がございます。*各チケットの詳細は公式サイトをご確認ください。

お問い合わせ 050-5541-8600(ハローダイヤル) / 03-5814-9898(FAX)

*会期・開館時間・休館日等は変更になる場合がございます。最新情報は展覧会公式サイトでご確認ください。

アクセス access

国立科学博物館(東京・上野公園)
National Museum of Nature and Science(Ueno Park, Tokyo)
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

- JR「上野」駅(公園口)から徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅(7番出口)から徒歩10分
- 京成線「京成上野」駅(正面口)から徒歩10分

*敷地内に駐車場および駐輪場はございません。



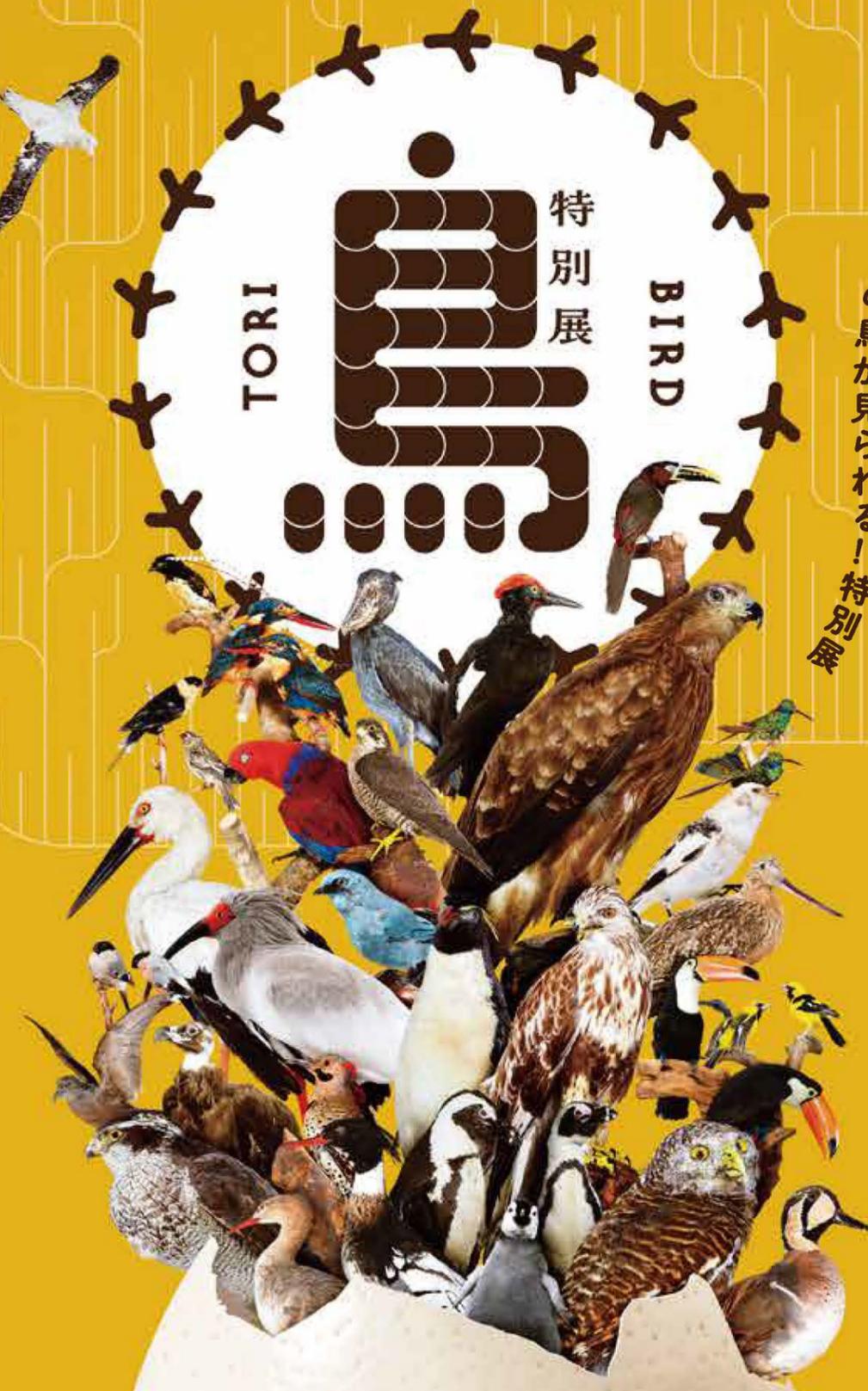
@toritenjp

公式サイト

<https://toriten.ehnn.jp/>



新 し ら 鳥 類 の 系 統



一生分の鳥が見られる!? 特別展

ゲノム解析が解き明かす

科博初!
鳥類の特別展
なんだったぞ。



シマエナガ

2024年11月2日(土) → 2025年2月24日(月・休)

国立科学博物館(東京・上野公園) National Museum of Nature and Science(Ueno Park, Tokyo)

【開館時間】 9時~17時(入場は16時30分まで)

【休館日】 月曜日・11/5(火)・12/28(土)~1/1(水)・1/14(火)
ただし、11/4(月・休)・12/23(月)・1/13(月・祝)・2/17(月)・2/24(月・休)は開館。

*会期等は変更になる場合がございます

主催: 国立科学博物館、日本経済新聞社、BSテレビ東京
特別協賛: キヤノン、サントリーホールディングス
協賛: 早稲田アカデミー
後援: 日本鳥学会、日本鳥類保護連盟、日本野鳥の会、山階鳥類研究所
協力: 我孫子市鳥の博物館、大阪市立自然史博物館、群馬県立自然史博物館、信州大学、帝京大学、鉄道博物館、
経路科学館、兵庫県立人と自然の博物館、弘前大学、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、
ミマキエンジニアリング、日経サイエンス、日経ナショナル ジオグラフィック
企画協力: テレビ東京メディアネット

一生分の鳥が見られる!? サンクチュアリへようこそ!!

科博初!

特別展

BIRD

鳥

TORI

って?

生態系において重要な位置を占める鳥類。科博初の鳥類をテーマとした特別展「鳥」では、鳥の起源とその進化の過程を紹介し、さらに、ゲノム解析による最新研究で解き明かされた進化系統仮説にもとづき、貴重な鳥標本を数多く展示します。言語能力や多様なつがい関係など、23のテーマで「鳥のひみつ」も詳しく解説します。

第1章

鳥類の起源と初期進化

獣脚類恐竜から派生し、鳥の特徴的な形質を獲得する過程を紹介します。骨格や脳、気嚢の研究から、鳥の鳥たる特徴をすでに恐竜が備えていたことを解き明かします。



ディノニクス

第2章

多様性サークル

最新のゲノム解析による研究で44の目(もく)に分類された鳥たち。展示と映像で、鳥類の進化の多様性を体感できます。



オオハナインコ

第3章

走鳥類のなかま

ダチョウやヒクイドリなどの走鳥類とも呼ばれるなかま。体が大きく飛べない鳥が多いなか、ちいさなコマダラキーウィの姿も。



ヒクイドリ

第4章

カモやキジのなかま

カルガモやキジ、ウズラ、ニワトリなどのなかまが集まるフィールド。美しい羽をもつオスが特徴的な鳥たち。オシドリやオオハクチョウ、アラナミキンクロ、ヤマドリ、エゾライチョウなどに会えます。



キジ

第5章

陸鳥や水鳥のなかま

ヨタカやカッコウ、ハトなどの陸鳥、ツル、チドリ、ミズナギドリなどの水鳥が見られます。現生最大の飛ぶ鳥ワタリアホウドリや純白のユキドリを見つけましょう。10種以上のペンギンも大集合。



ハンビロコウ

第6章

猛禽とそのなかま

タカやハヤブサ、フクロウのなかまが集まるフィールド。絶滅が危惧されるオウギワシやシマフクロウなど貴重な鳥も。キツツキのなかまや、美しい羽で人気のカワセミ、ケツアールも見られます。



シマフクロウ

第7章

小鳥のなかま

鳥類でもっとも多様化したスズメ目のなかまが集まるフィールド。オオルリやコマドリなど姿や声がきれいな鳥がたくさん見られます。12種を集めたフウチョウ類の展示は必見です。



コマドリ

第8章

鳥たちとともに

鳥をはじめとする生物が生きている、地球の生態系のこれからを考えるフィールド。鳥と人との関係について紹介します。



トモエガモ

TOPIC

1

世界初挑戦! 史上最大の飛べる鳥「ペラゴルニス・サンデルシ」復元プロジェクト

およそ2600万年前に生きていた、翼開長7mの史上最大の飛翔できる鳥「ペラゴルニス・サンデルシ」の実物大生体モデルを復元!



ペラゴルニス・サンデルシ生体復元モデル

TOPIC

2

「鳥のひみつ」

鳥の驚きの生態などを紹介する「鳥のひみつ」コーナー。「カッコウの托卵で宿主は滅びないのか?」「鳥の雌雄産み分け」「鳥にもある“方言”や“言葉”」「ハトが教えてくれる鳥の“心”」などのテーマで、最新研究の成果を分かりやすく紹介します。



カナダカケス

ボクも恐竜なのだ!

ハヤブサは、ゲノム解析でインコやスズメに近い鳥ってわかったんだって

太い脚や鋭い爪は速く走るのに最適

仲の良いカップルをオシドリ夫婦というけど、本物のオシドリはどうかかな?

ハンビロコウは本当に動かないよ

最近では都会で猛禽が増えてるんだって

かわいい小鳥は、ボクだけじゃないよ。みんなの推しを探してね。

鳥が安心して暮らせる環境は、人にもやさしいよ

大迫力の巨鳥の姿を見にきてね!

とても意外な「鳥のひみつ」みんなも知りたくない?

アカショウビン